

環境経営事業所訪問記

株式会社南九州マツダ No.2



本社の全景

＜主な業務内容＞
●乗用車・商用車の新車販売、中古自動車販売、部品・用品等の販売、自動車整備業、損害保険代理業

＜EA21 登録日＞

2010 年 3 月



MAZDA CX-60

今回、鹿児島市新栄町にある[株式会社南九州マツダ](#)を訪問しました。

マツダブランドの乗用車・商用車の販売事業等を、熊本県下 8 事業所、宮崎県下 10 事業所、鹿児島県下 8 事業所で展開し、全ての事業所が [EA21 登録対象](#)として、環境配慮経営に取り組んでいます。

きっかけ

2009 年 [マツダ株式会社](#)から、マツダ車の販売会社に対し、EA21 を導入して環境経営に取り組むようにとの要請が出され、株式会社南九州マツダでは、販売会社の中でもいち早く EA21 を導入しました。

まず環境目標のデータを管理しやすいように一元化し、全員参画で環境経営活動を推進しました。

現在は、長年の EA21 環境経営がベースとなり、[一般社団法人日本 SDGs 協会](#)・[鹿児島県 SDGs 登録制度](#)・[「かごしま SDGs 推進パートナー」](#)などに登録し、SDGs 活動に取り組んでいます。

また、お客様とのコミュニケーション向上を図るため、各店舗の店長と幹部との間で、「キャリアプラン研修」を実施しています。



自動車整備工場

目標・施策

1. 環境配慮車の販売増

販売する車は、「ハイブリッド車」・「クリーンディーゼル車」などのエコカーで、拡大・普及に力を入れています。

2. 二酸化炭素排出量の削減

LED 化の推進、冷暖房設定温度の管理、エアコンフィルターの定期清掃、待機電源オフの徹底などを心がけています。

3. 廃棄物排出量の削減

両面、縮小コピーの活用や会議資料のペーパーレス化など、紙使用量の削減に取り組んでいます。

また、種類別ゴミ箱設置でリサイクル、一般ゴミの分別推進、詰め替え製品の購入、産業廃棄物の適正分別管理をしています。

塗装工場ではシンナーを循環してリサイクルを行っています。

4. 水使用量の削減

毎月使用量の把握と漏水のチェックをしています。ストップノズルの活用や節水効果型門型洗車機を導入し、水の適正使用を徹底しています。

5. グリーン購入

対象 5 品目（コピー用紙、事務用品、電池、洗剤、トイレットペーパー）を定め、総購入金額の 40%をグリーン購入となるよう取り組んでいます。



店舗でエコドライブ方法等のご紹介



廃棄物保管庫



少量危険物倉庫

これからの環境活動

環境経営方針に SDGs17 の目標、「4.質の高い教育をみんなに」を追加し、質の高い教育の提供、先々有効となる学びの機会を促進していく予定です。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。